

令和元年度 水戸市介護人材の確保に関する事業所実態調査票

調査基準日 令和元年8月1日(木)

この調査について

- 1 この調査は、本市の介護保険サービス事業所等の介護人材の雇用状況等を調査することにより、今後、水戸市が介護人材の就労支援及び処遇改善のほか、資質の向上に資する施策を推進するための、基礎資料とすることを目的としています。
- 2 回答に当たっては、事業所ごとの状況について、事業所管理者、またはこれに準ずる方がご回答ください。
- 3 ご回答いただいた内容は、水戸市において介護人材の確保に係る施策の検討のための統計データとしてのみ使用し、個々の事業所の情報を公表することはありません。
- 4 回答は、この調査票に直接記入していただき、8月23日(金)までに、この調査票と同封の返信用封筒にて水戸市介護保険課までご提出ください。メールや直接持参によるご提出も可能です。
- 5 回答に当たっては、令和元年8月1日(水)現在の状況でお答えください。
- 6 回答は、選択肢の数字を○で囲んでいただくもの(設問ごとに、回答できる数をカッコ書きにて指定しています。)と数字を記入していただくものがあります。
- 7 介護保険施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設)を提供している場合は、短期入所(ショートステイ)事業所分も含めてご回答ください。
- 8 介護保険施設以外の事業所で、複数のサービスを提供する事業所については、それぞれの事業所に調査票をお送りしておりますので、サービス種類ごとにご回答ください。
- 9 要支援の方へ介護予防サービス及び介護予防・日常生活支援総合事業(旧介護予防訪問介護及び旧介護予防通所介護)を提供している場合は、そちらのサービスも含めてご回答ください。
- 10 この調査に関するお問い合わせは、水戸市介護保険課にお願いします。
〒310-8610 水戸市中央1-4-1 水戸市保健福祉部介護保険課給付係 内堀
電話:029-232-9177 FAX:029-232-9230 メール:kaigo@city.mito.lg.jp

事業所 名称		サービス 種類	
回答者 (役職・氏名)		連絡先 (TEL)	

問1 貴事業所(あなたが従事する事業所のこと。以下同じ。)が提供するサービスは、次のうち、どのサービスですか。当てはまる数字に○をご記入ください(回答は1つのみ)

1 居宅介護支援	2 訪問介護
3 訪問入浴介護	4 訪問看護
5 訪問リハビリテーション	6 通所介護
7 通所リハビリテーション	8 短期入所者生活介護(介護老人福祉施設が運営するものを除く)
9 特定施設入居者生活介護	10 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
11 夜間対応型訪問介護	12 地域密着型通所介護
13 認知症対応型通所介護	14 小規模多機能型居宅介護
15 認知症対応型共同生活介護	16 看護小規模多機能型居宅介護
17 介護老人福祉施設(地域密着型サービスを含む。)	18 介護老人保健施設

問2 貴事業所が所在する日常生活圏域は、次のどの圏域ですか。当てはまる数字に○をご記入ください。なお、カッコ内に各日常生活圏域に該当する中学校区を表示しています。(回答は1つのみ)

1 中央(一中, 二中)	2 東部(三中, 千波中)
3 南部第一(四中)	4 南部第二(緑岡中, 見川中, 笠原中)
5 北部(飯富中, 五中, 石川中, 国田中)	6 西部(赤塚中)
7 常澄(常澄中)	8 内原(内原中)

問3 貴事業所にて従事する方(事務職員を含む。)は、男女それぞれ何人ですか。あてはまる分類ごとに人数をご記入ください。なお、1か月以上の療休、産休・育休、介護休暇等のため、実際に従事していない方及びボランティアの人数は、含めないでください。(問3, 4, 5ごとの合計人数は一致させてください。)(8月1日現在)

	正規職員	非正規職員	派遣職員	その他	計
男性	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人
合計 (a=b+c)					a 人

問4 貴事業所にて従事する方(事務職員を含む。)は、男女それぞれいずれの年齢層にありますか。当てはまる年齢層に、男女別の人数をご記入ください。なお、1か月以上の療休、産休・育休、介護休暇等のため、実際に従事していない方及びボランティアの人数は、含めないでください。(問3, 4, 5ごとの合計人数は一致させてください。)(8月1日現在)

	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上	計
男性	人	人	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人	人	人
合計 (a=b+c)								b 人

問5 貴事業所にて従事する専門職(事務職員を含む。)はそれぞれ何人ですか。当てはまる資格ごとに人数をお答えください。なお、1か月以上の療休、産休・育休、介護休暇等のため、実際に従事していない方及びボランティアの人数は、含めないでください。(複数の専門職をお持ちの方は、雇用の際、最も求められている資格をお選びください。)(問3, 4, 5ごとの合計人数は一致させてください。)(8月1日現在)

①介護福祉士	人	⑧歯科医師	人	⑯精神保健福祉士	人
②ヘルパー2級等の介護士	人	⑨歯科衛生士	人	⑰社会福祉士	人
		⑩薬剤師	人	⑱その他(具体的に)	
③介護支援専門員(ケアマネジャー)	人	⑪管理栄養士	人	()	人
④保健師	人	⑫栄養士	人	⑲介護に従事するが資格を有しない方	人
⑤看護師	人	⑬理学療法士	人		
⑥准看護師	人	⑭作業療法士	人	⑳事務職員	人
⑦医師	人	⑮言語聴覚士	人	合計 (a=b+c)	
					c 人

問6 貴事業所では、現在、職員の募集をしていますか。募集をしている場合は、当てはまる資格ごとに人数をご記入ください。(募集人数1人当たり、必ず1つの最も求められる資格をお選びください。なお、募集をしていない場合は、「募集をしていない」の欄に〇をお書きください。)(8月1日現在)

募集をしていない			
①介護福祉士	人	⑧歯科医師	人
②ヘルパー2級等の介護士	人	⑨歯科衛生士	人
		⑩薬剤師	人
③介護支援専門員(ケアマネジャー)	人	⑪管理栄養士	人
④保健師	人	⑫栄養士	人
⑤看護師	人	⑬理学療法士	人
⑥准看護師	人	⑭作業療法士	人
⑦医師	人	⑮言語聴覚士	人
		⑯精神保健福祉士	人
		⑰社会福祉士	人
		⑱その他(具体的に)	人
		()	人
		⑲介護に従事するが資格を有しない方	人
		⑳事務職員	人

問7 貴事業所では、昨年度(平成30年度)に離職(定年退職を含む。)した職員は何人いましたか。同じく、新たに雇用(新規採用のみで、社内異動による補充を含まない。)した職員は何人いましたか。当てはまる資格ごとに人数をご記入ください。(複数の資格をお持ちの方は、最も求められる資格をお選びください。また、派遣社員の人数は含めないでください。「離職」の欄には昨年度に離職した人数を、「雇用」の欄には昨年度に新たに雇用した人数をお書きください。)(8月1日現在)

	離職	雇用		離職	雇用		離職	雇用
①介護福祉士	人	人	⑧歯科医師	人	人	⑯精神保健福祉士	人	人
②ヘルパー2級等の介護士	人	人	⑨歯科衛生士	人	人	⑰社会福祉士	人	人
			⑩薬剤師	人	人	⑱その他(具体的に)		
③介護支援専門員(ケアマネジャー)	人	人	⑪管理栄養士	人	人	()	人	人
④保健師	人	人	⑫栄養士	人	人	⑲介護に従事するが資格を有しない方		
⑤看護師	人	人	⑬理学療法士	人	人		人	人
⑥准看護師	人	人	⑭作業療法士	人	人	⑳事務職員	人	人
⑦医師	人	人	⑮言語聴覚士	人	人			

問8 貴事業所において、昨年度に離職した職員の、離職理由は主に何でしたか。(回答は当てはまるもの全て)

1 利用者との人間関係	2 職場内における人間関係
3 スキルアップのための転職	4 就職前のイメージとの差異(思った仕事と違っていた等)
5 賃金・勤務形態等の処遇に対する不満	6 本人の健康上(病気やケガ)の問題
7 親族等の介護のため	8 出産・育児のため
9 結婚のため	10 年齢を原因とした退職(定年退職を含む。)
11 不明	12 離職者はいなかった ※
13 その他(具体的に:)	

※「12 離職者はいなかった」を選択した場合、他の選択肢は選べません。

問9 貴事業所では、介護人材が不足していると感じますか。(回答は1つのみ)

1 不足していると感じる	2 どちらかというと不足していると感じる
3 どちらかというと不足していないと感じる	4 不足していないと感じる
5 分からない	

問10 貴事業所では、介護人材の不足により生じている問題がありますか。(回答は当てはまるもの3つまで)

1 職員の高齢化
2 職員の精神的負担(ストレス)が増えている。
3 職員が残業しなければならない。
4 職場のリーダーとなる人材が育たない。
5 若い担い手が定着しない。
6 職員が有給休暇などの休暇をとりにくい。
7 職員の家庭生活に配慮した勤務シフトが組みにくい。
8 利用者(又はケアマネジャー)からのサービス依頼に対して、職員不足からサービスを提供できない場合がある。
9 介護サービスの質の低下
10 その他(具体的に:)
11 介護人材の不足により生じている問題はない。※

※「11 介護人材の不足により生じている問題はない。」と回答した場合、ほかの選択肢は選べません。

問11 貴事業所では、介護職員の確保のために特に取り組んでいることはありますか。(回答は当てはまるもの全て)

1 職員の賃金改善(介護職員処遇改善加算を活用したものを含む。)
2 職員の家庭環境(出産・子育て・家庭介護等)に応じた労働時間、休暇等への配慮
3 有料広告媒体の活用
4 職場環境の改善(介護職員処遇改善加算を活用した賃金改善を除き、研修機会の確保や休憩設備の整備などを含む。)
5 公共機関(ハローワーク、県社協等)による介護人材の確保のための各種補助事業の活用
6 就職説明会等のセミナーへの参加
7 介護職員確保のための就労仲介業者の活用
8 職員のレクリエーション(親睦会など)への支援
9 介護専門職に係る養成機関・学校との連携
10 職員用の保育施設の確保
11 外国人労働者の活用
12 介護ロボット(センサーベッド等の見守り装置、コミュニケーションロボット、アシスト補助具等の国県補助によるものを含む。)の導入
13 その他(具体的に:)

問12 居宅介護支援事業所以外の事業所のみご回答ください。居宅介護支援事業所は問17にお進みください。
貴事業所では、介護職員処遇改善加算を取得していますか。(回答は1つのみ)

1 加算を取得していない	2 加算Ⅰを取得している	3 加算Ⅱを取得している
4 加算Ⅲを取得している	5 加算Ⅳを取得している	6 加算Ⅴを取得している
7 分からない		

問13 居宅介護支援事業所以外の事業所のみご回答ください。
貴事業所では、ボランティアの受け入れをしていますか。(回答は1つのみ)

1 ボランティアの受け入れをしている →問14へ	2 ボランティアの受け入れをしていない →問17へ
--------------------------	---------------------------

問14 居宅介護支援事業所以外の事業所のみご回答ください。
貴事業所では、ボランティアをどのように探しましたか。(回答は当てはまるもの全て)

1 ボランティア本人から事業所への直接申込み
2 事業所職員等の人脈
3 ボランティアセンター(市社協)からの紹介
4 その他(具体的に: _____)

問15 居宅介護支援事業所以外の事業所のみご回答ください。
貴事業所では、ボランティアを活用することで介護職員の職場環境の改善につながると考えていますか。(回答は1つのみ)

1 大いに改善につながる	2 どちらかという改善につながる
3 どちらかという改善につながらない	4 全く改善につながらない
5 分からない(どちらとも言えない)	

問16 居宅介護支援事業所以外の事業所のみご回答ください。
貴事業所において、ボランティアは、どのような業務に当たっていますか。(回答は当てはまるもの全て)

1 レクリエーション活動(お祭り、イベント等を含む)	2 利用者との会話(傾聴)
3 掃除	4 洗濯
5 調理	6 身体介護
7 その他(具体的に: _____)	8 ボランティアを活用する考えはない ※

※「8 ボランティアを活用する考えはない」と回答した場合、ほかの選択肢は選べません。

問17 貴事業所では、労働局の認定制度の中で知っている、または聞いたことがあるものはありますか。(回答は知っている、または聞いたことがあるもの全て)

1 えるぼし認定	2 くるみん認定 (プラチナくるみん認定を含む。)	3 ユースエール認定	4 安全衛生優良企業認定
			
女性の活躍推進に関する状況等が優良な企業として認定する制度	「子育てサポート企業」として認定する制度	若者の採用・育成に積極的で雇用管理状況などが優良な中小企業を認定する制度	高い安全衛生水準を維持・改善している企業を認定する制度
5 知っている、または聞いたことがあるものはない			(出典:厚生労働省)

問18 貴事業所では、労働局の次の認定制度で受けているものはありますか。(回答は認定を受けているもの全て)

1 えるぼし認定	2 くるみん認定 (プラチナくるみん認定を含む。)	3 ユースエール認定	4 安全衛生優良企業認定
5 認定を受けているものはない			

問19 貴事業所では、労働局の次の認定制度で受けてみたいものはありますか。(回答は受けてみたいと思うもの全て)

1 えるぼし認定	2 くるみん認定 (プラチナくるみん認定を含む。)	3 ユースエール認定	4 安全衛生優良企業認定
5 受けてみたいとは思わない		6 分からない	

問20 水戸市では、今年度(令和元年度)、介護人材の確保のため、「介護の仕事を広く知ってもらうための取組」の一環として、市報を活用した関連記事の掲載を予定しております。そこで、働く姿などを紹介する記事を作成するため、次のような介護職の方(年齢不問)を募集しています。

- ①資格(ケアマネジャー等)を持っていながら働いていなかったが、介護の仕事を始めた方
- ②他業種より転職(定年退職を含む)されて、働いておられる方
- ③子育てをしながら、または子育てがひと段落ついて働きはじめられた方

このような中途採用の方について、取材にご協力いただける事業所は、次のとおり推薦願います。当てはまる回答用紙の数字に○をし、「1」の場合は具体的にアピールできる点などがあればお書きください。(ご推薦をいただきました事業所へは、後ほど介護保険課より照会させていただく場合があります。)

	具体的にアピールできる点などをお書きください
1 推薦できる方がいる	
2 推薦できる方はいない	

介護人材の確保について、ご意見・ご要望等があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。この調査票は、同封の返信用封筒にて水戸市介護保険課までご返送ください(切手を貼る必要はありません)。なお、メールまたは直接持参でのご提出も可能です。